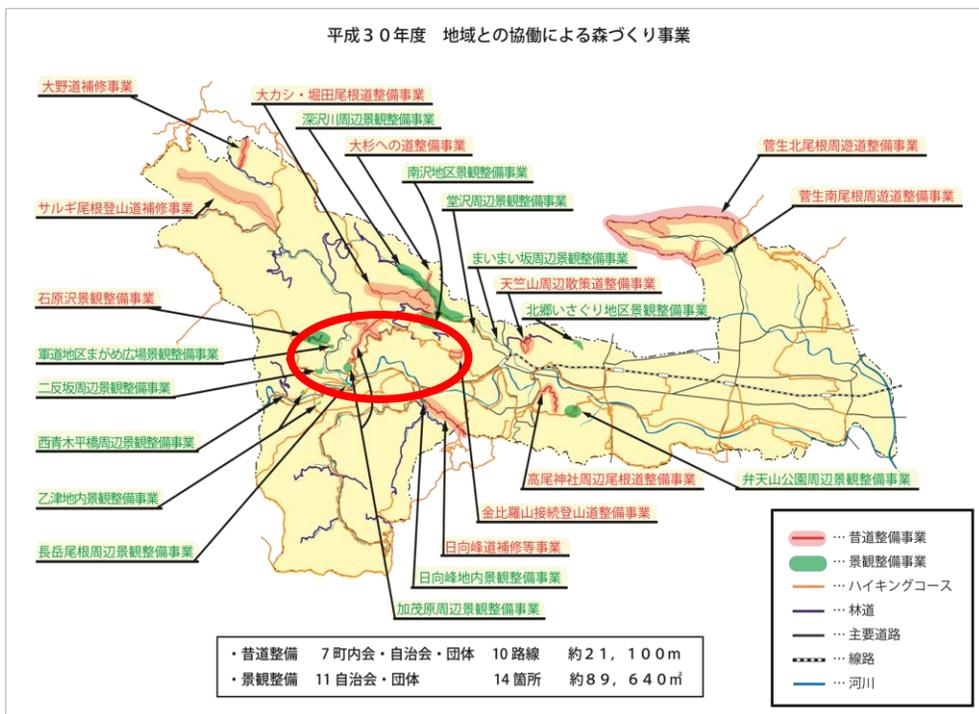


2019年の小宮地区体験学習がスタートしました！！

2012年3月に138年の歴史に幕を下ろしたあきる野市立小宮小学校は、小宮ふるさと自然体験学校として市内外の方に利用されています。体験学校では、主催の自然体験事業、歴史の展示、小宮地区の自然の展示、そして地域の方の交流事業も行われています。

森林レンジャーは「市の多様な自然や文化を次世代につなぐ」ために、2012年から市内小学校の先生と連携して小宮地区体験学習を行っています。



○ 小宮地区体験学習で利用するエリア

結び合わせる道

子どもたちは毎年、実体験を通して様々な学びを持ち帰り、地域や自然への愛情を育てています。この体験学習で最も大切なのは学習する場である“森”です。その森には、地域の力で整備された山道が多く、多様な自然と地域ならではの歴史がつまっています。山道を歩きながら、自分が産まれるずっと前の時代や、環境が違う地域の暮らしに思いを馳せて、自分の暮らしと重ね合わせながら、地域の自然を発見する子もいます。地域の方々と次世代の子どもたちを結び合わせている、そんな山道です。

軍道自治会が整備した山道



自然を昔に戻す会が整備した場所



1. 五日市小学校をスタート!



2. 樽自治会が整備した山道



3. 養沢自治会が復活させた山道



4. 落合自治会が復活させた山道

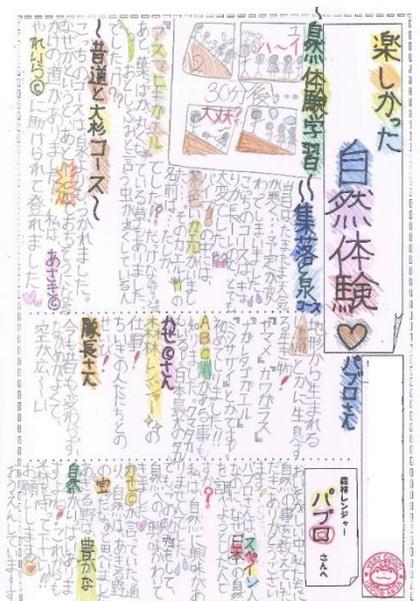
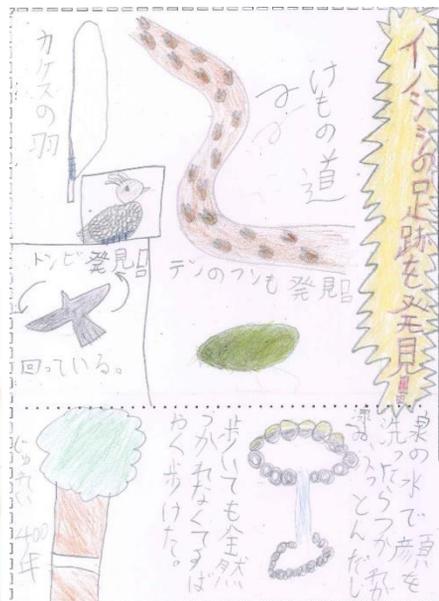
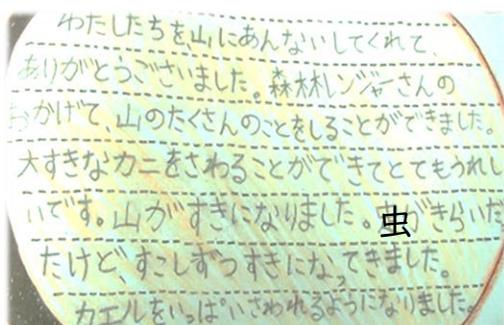


五日市小学校の体験学習では、毎年自分たちの学校から主に山道を歩いて小宮ふるさと自然体験学校を目指します。このルートは、地域の力で整備・復活した山道を3つ歩きます。

いつも歩いている山ではみんな余裕の顔ですが、道が狭くなって、けもの気配がして、地域の歴史に思いを馳せて、急な坂を歩いて、ようやく体験学校に到着した時には、今年もみんな遅い顔になっていました♪

子どもたちからの手紙

手紙を読むと、子どもたちが自分の五感を使って森を歩き、発見し、先生・レンジャー・友だちと相互に学んでいる様子が見てとれます。



地域の皆さま、いつもありがとうございます！今年もよろしくお願いします！！